

東松山の家

南北に走る街道筋から東に折れると、暫くは平たんな住宅地が続くが、到達した敷地は段丘の突端で、下がってゆく崖に茂った樹々と10～15m程下の街並みその向こうには武蔵松山城址の丘が展開する美しい場所であった。

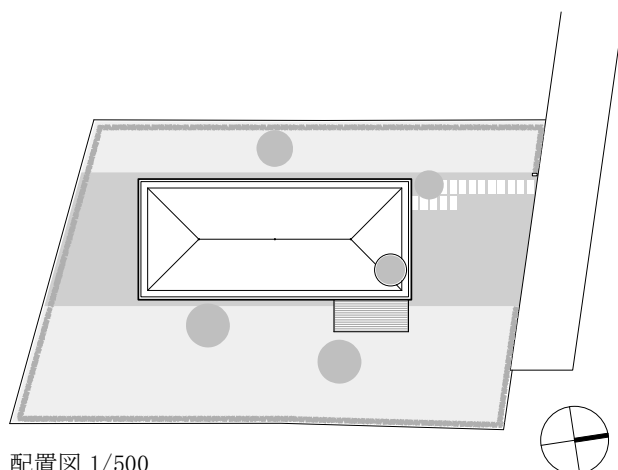
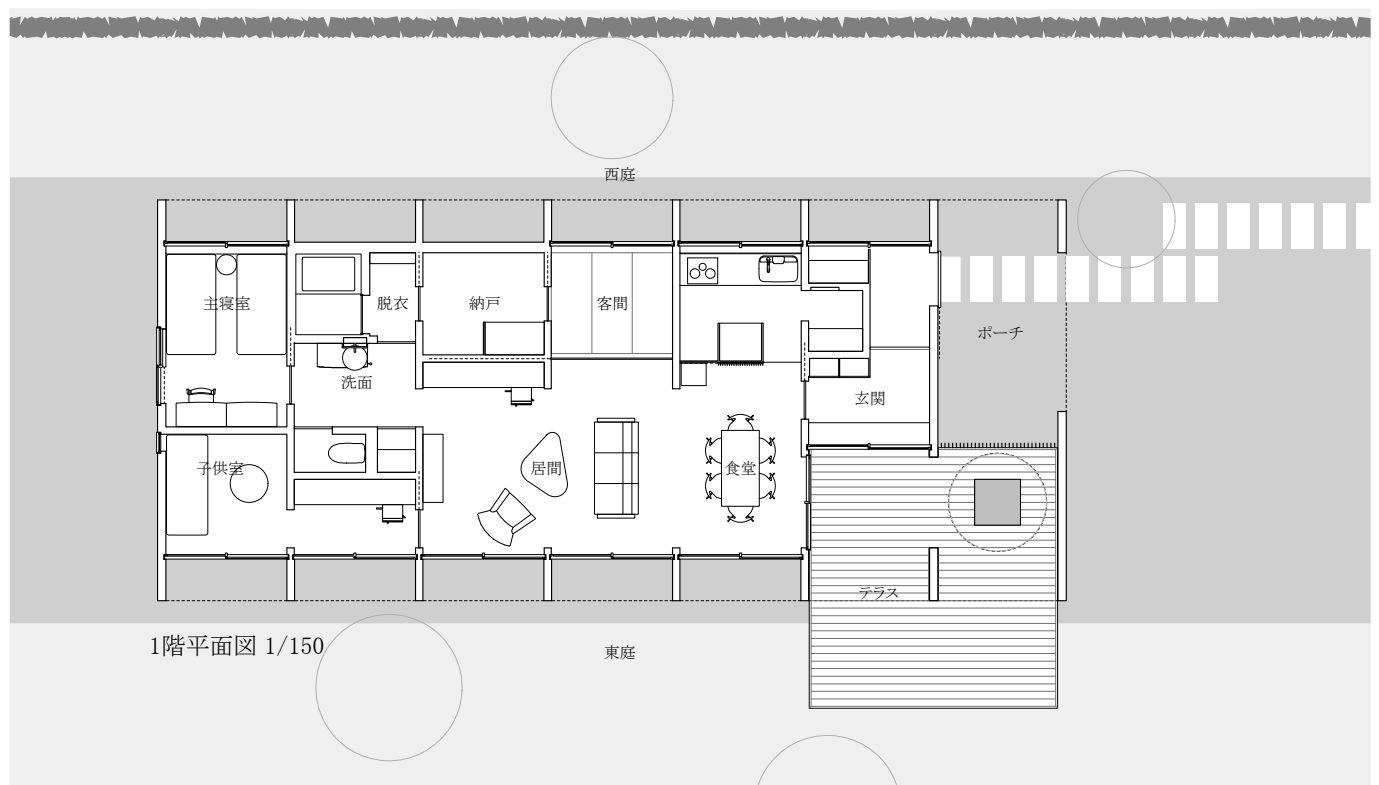
この眺めを最大限に取り込むよう建物の東面は全面ガラスとし、ブリーズ・ソレイユ（日照調整装置）として庇と等間隔の壁を設けた。

庇は高さを抑え、水平かつ下方に広がる

風景を美しく切り取り、そのまま内部天井まで続いている。低い天井により、遠景まで一気に取り込まれるような感覚を呼ぶと考えた。

壁も同様に建物を貫通して続き、内部空間をいくつかの居場所に分節する役割を担っている。壁の途切れ方によって空間が性格付けされ、揺らめくように南北方向に空間が流れており、同じ風景を場所ごとに違った気分で迎えられるようになっている。

所在地	埼玉県東松山市
主要用途	住宅
家族構成	夫婦、子供1人
敷地面積	658㎡(199T)
建築面積	136㎡(41T)
延床面積	93㎡(28T)
規模	地上1階





正面飾り棚右手の扉が引戸になっていて、テレビが収納されている。飾り棚の下は格子の折戸で、AV機器のリモコンが感知でき、スピーカーからの音を通る。



東側から見る。



食堂に隣接したテラス。



アプローチ。



ポーチの奥がテラス。



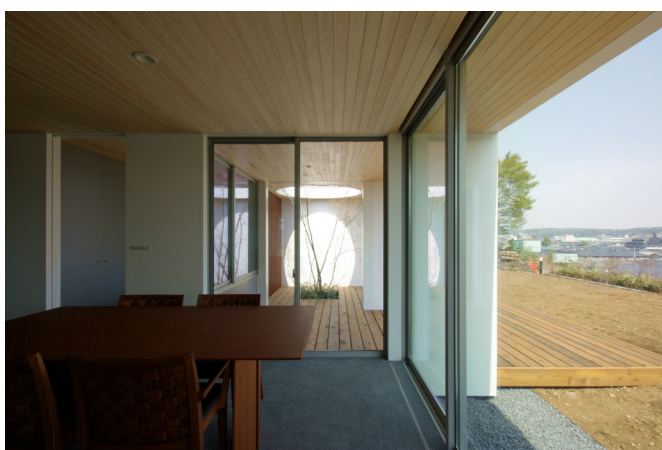
テラスから東庭を望む。



テラス。



食堂から居間を見る。



食堂からデラスを見返す。



居間から食堂を見返す。



居間に面した書斎と客間。客間は引戸で仕切ることが出来る。



居間から東庭を望む。



建具の納まり。





子供室。



洗面所。